

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 300

政策体系	11	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 2. 児童福 - 2. 児童福 現年		
事業名	保育所管理運営費				
細事業名	広域入所委託事業				
評価表作成者				市民福祉部 子育て支援課	八木 尚也

## 1. 事業の概要

児童福祉法に基づき、保護者の就労状況や里帰り出産等を理由に、他市町村と事前協議及び委託契約締結の上、保育所入所委託を実施、又は、南丹市立保育所への入所受託を実施するもの。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

南丹市の枠を超えた広域的保育を実施することにより、市外での就労者や里帰り出産を希望する保護者が市内に在住しながら安心して子育てできることに繋がる。

### ② 事業を実施する必要性

保護者の就労形態の多様化や、核家族化、共働き世帯の増加等の社会情勢の変化に伴い、多様化する保育ニーズに柔軟に対応する必要がある。

## 3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	0	2,225	3,186	1,042	5,914	5,914	5,914
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	367	500	500	500
	国・府支出金	千円	0	855	1,707	217	665	665	665
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	1,370	1,479	458	4,749	4,749	4,749
職員等の従事人員		人/年	—	0.30	0.15	0.10			
人件費		千円	—	1,855	761	646			
事業費総額		千円	—	4,080	3,947	1,687			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

広域入所委託料 1,041,770円

## 5. 事業結果の概要

平成22年度保育所入所委託児童数（京丹波町1名、亀岡市2名）3人  
 平成22年度南丹市立保育所入所受託児童数（京丹波町3名、亀岡市1名、能勢町1名）5人

## 6. 活動の詳細

事前協議・委託契約締結		
申請を受け、広域入所に該当するかを審査後、入所希望保育所の所在する市町村との事前協議を実施し、保育の委託に係る契約を、委託先が公立の場合は市町と、私立の場合は保育所と締結。	7～1月	委託契約締結先 私立保育園 2件 公立保育所 1件
申請		
年度途中で南丹市への転入を予定されている方より就労先の都合等により転入前より通所されている他市町に所在する保育所への継続通所についての申請を受理。	7～1月	年度中3件の受理
入所決定・通所		
委託契約の成立後、入所承諾、通所開始。	7～1月	入所承諾者 3名

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

京都府内における広域入所に関する統一ルールである「京都府保育所広域入所に関する実施要領」に基づき、保護者の就労や里帰り出産等により市内保育所に入所できない児童の保育を他市町村に委託した。また、同様の理由により、市内保育所への入所希望児童の保育を受託した。今後も、実施要領に基づき、継続する。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成22年度の所属長評価

制度の周知等について協議を進めた。  
保護者の就労や出産等を支援を進める。  
事業をしていない市町村があるので、京都府が21年度より新規事業として市町村間の広域入所について調整を進めることとしているので、連携をして進める。

#### ■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
制度の周知等について協議を進めた。  
②当該事業のアピール事項  
保護者の就労や出産等を支援を進める。  
③反省点、今後の展開・方向性等  
事業をしていない市町村があるので、京都府が21年度より新規事業として市町村間の広域入所について調整を進めることとしているので、連携をして進める。